

第10回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

・ ご意見カード記入者 10 名（内公表希望 7 名）

整理番号	ご意見
1	<p>都は住民の疑問点、要望に対する回答（根拠と説得力をもったもの）を用意しなければ会を進めることはできない。ということはこれまでの経過から明確になっているにも関わらず、何回やっても同じ事を繰り返している。これは誠意の有無を超えて進めようという意思の欠如としか考えられません。</p>
2	<p>小口課長がいくら石原都知事が外かんの 2 のことを承知していると言っても都知事本人があのような会見をしているのであるからとうてい信用できない。都の職員として石原知事に真意をただし、住民にきちんとした回答をすべきである。この会見内容の真意がはっきりしない間は外かんの 2 の話し合いを続けるべきではない。又、是非石原都知事には沿線全域を視察していただき地域住民と意見交換をしていただきたい！</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の参加メンバーの発言は全て正論である。 ・司会者は幕引きを計らず公正にやるべし！小口氏が司会者共々ごまかそうとしても無理がある。 ・12月22日の記者会見で知事が知らなかったのは事実であり、周知の事実である。小口氏はなぜそこまで事実をねじ曲げるのか？私だって知事会見を見たぞ！ごまかせません。 ・地域住民の意見を聞く会に関して、会をやったぞ、話しを聞いたぞ、というアリバイ作りにする事は認められない。＝練馬がそうだった！ <p>会で出た意見、今日の会で出た意見を反映する事。聞きっぱなしは許しません！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野の会を傍聴していると、練馬がいかに軽んじられていたか実感する。 ・「口だけでごまかすのは止めてほしい」という構成員の意見はもっとも。練馬ではそのやり方で押し切ったが人生そんなに甘くないぞ。 ・資料9-4には多くの不適切箇所がある。正しい情報を提供するべきだ。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・石原発言に対する小口課長の説明では誰も納得できないでしょう。都知事に現地視察要請をすべきである。 ・とにかく「道路をつくりたい、つくりたい」が見え見えの進行ではこのこうちゃく状態は解消しないでしょう。
5	<p>基本的なことからして、はっきり決まってなく、時間だけたって会議は進んでいない。前回の議事録すら承認されていない。主催者側は会議の設定をはっきりさせてほしい。構成員の意見を重視すれば良いと思うのだが、主催者側は軽視して自分が勝手に決めたルールの上のせて会を早く進めようとしてだけしているように見える。主催者側は構成員より指摘されれば修正すると言っているが、なぜかその事が感じられない。</p>

6	住民は真剣に話しあいへのぞんでいるのだから都は住民の質問にきちんと答えるべきで、答えが情緒的であるという以前に答える準備ができていないのではないかと思う。知事発言への質問が出るのは予測されて当然ではないか。傍聴者がいらいらするくらい準備が悪い。
7	<ul style="list-style-type: none">・小口課長は都知事がウソをついているのだといっているわけで、一課長が僭越にそんな答えをしていいのか。本件を知事の所へ行って真意を聞き関係住民にきちんと説明できなければ外環の2担当課長失格。辞表を出せ。・小口課長ははぐらかすばかりで住民の疑問にまともに答えていない、これでは話し合いの会が成り立たない。この点をきちんと裁かなければ司会者も失格。猛省してほしい。